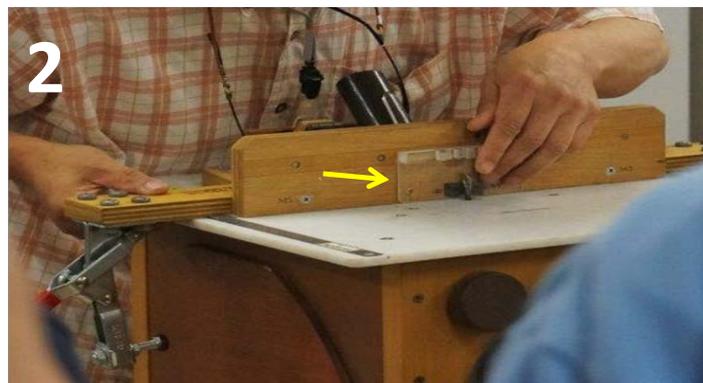
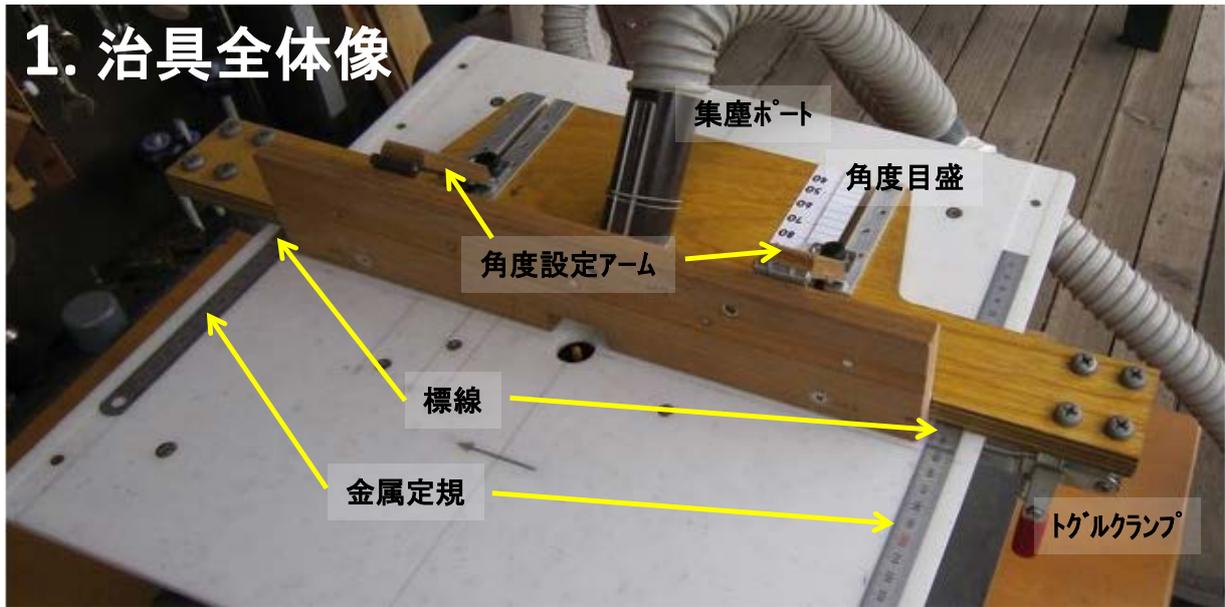
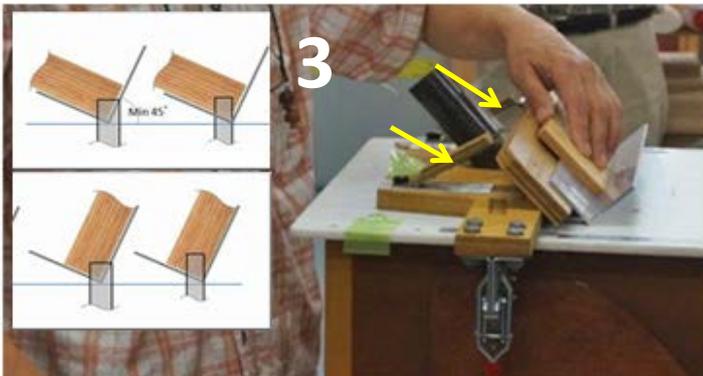


新木場木工交流会 発表メモ			1
氏名	古河 勝	発表年月日	2016年 5月 14日
発表タイトル	トリマーテーブル用傾斜フェンス		
内容 (不要箇所を削除)	治具紹介		
目的・ねらい	四方転び箱等の傾斜した溝をトリマーで加工する。		
材料と方法	トリマーテーブルのフェンスの角度を可変にして対応する。 その他関連する小技の紹介。		



#### 2. フェンスのセット(通常の場合)

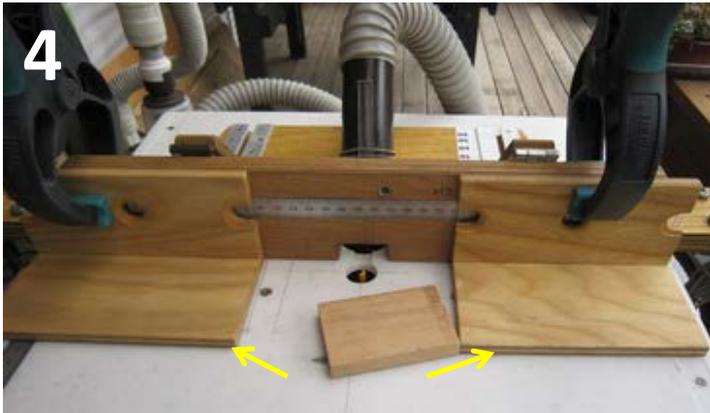
- ① ビットとフェンスの間に厚みが既知の板(矢印のアクリル)を挟んでフェンスを固定。
- ② 金属定規(天板上に掘り込んだ溝の底部に磁石を埋め込み張り付けてある)をフェンス両端の標線に合わせる。  
(厚さ3mmの板を使った場合、例えば103mmに合わせる)
- ③ フェンス位置を加工図面に従い再設定。



#### 3. 傾斜フェンスの使用

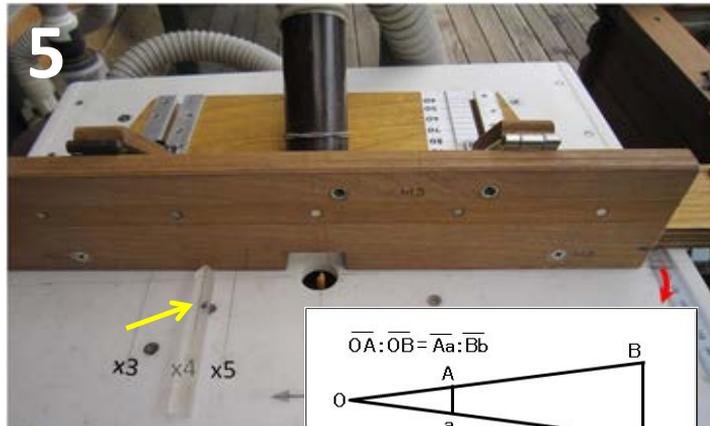
- ① 2本の角度設定アーム(矢印)で希望の角度にセット。
- ② アルミアングルをフェンスにビスで固定。(フェンスに鬼目ナット取付け済)  
アングルを使うことで加工操作が安定し、且つ左側の図のように標準面を変えることで全ての角度に対応可能。

\* 発表のため立ち位置は反対側。



4. ストッパーの設置

- ① 加工開始・終了のためのストッパー(矢印)をフェンスに設置。
- ② フェンスに掘った溝に磁石を埋め込み、そこに金属定規を張り付けてストッパー位置設定の補助とする。



5. フェンス位置微調整の一方法

- ① 支点設定棒(黄矢印の亚克力棒)をマーキング位置にフェンスに密着させて両面テープで天板に貼り付ける。
- ② アクリル棒先端を支点にして反対側を動かす。(赤矢印)

\* 例えば、挿入図に示すようにフェンスを0.5mmビット側に近づけたいとき(A→a)、“x4”を支点にフェンス右端を2mm移動させる。(調整精度4倍)



6. 加工中



7. 角度調整アーム固定部  
(つまみネジと板ナットの組合せ)



8. 集塵ポート  
(底部から)



9. 加工例